o ` zbekiston Respublikasl
O11y va o ` rta maxsus ta ` lim vazirligi
Samarqald davlat cllet tillar iIBtiluti
Boslon 譖 roy ko ` ell 差 si,93 町;,S 畠細禽 rqaad。140104
「I 心 F 幽両部 8 似琳 ZI 順 8
'Webswww.ss 皿 ddlti。顧 z
か･m急 asina1 で ilsamdthti.nz
STIR 202㈱1213,M:F0 0㈱14
11/i.10㈱1086018401709410㈱79003

:Ministry of higher ald se{:ondary
special education of the Republie or uzbekistan
Samarkand state institu!e of foreigl lalguages
Bustoas･r り「stc･, 93. S 副 nark 忿皿 d。1401(M
・/Fa 叫 2337843,叫 21 網 18
Web こ wwlw.samdcl 眩顧 z
を･man; inlol@samdchtl。uz
ITN 202001213, M:F100014
C/a.10001086018401709410007900 3

アルホラズムの会
代表者　田中信義様
幹事　　神藤洋爾様、坂口雅司様

短夜の候、貴会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ウズペキスタンは今”サラトン“と言う時期にはいり、６月 22 日から７月 22 日まで一か月続く一年で一番暑い時期を凌いでおります。

さて、皆様よりサマルカンド国立外国語大学における日本語教育の発展に対し深いご関心と温かいご支援をいただいておりますことに、深く感謝と敬意を表したく存じます。本大学はウズベキスタン国内での若い大学の一つで、日本語学科は 2008 年に成立され、それまで日本語が英語学部で第二外国語として教えられておりました。日本語学科では日本語を第一外国語として 80 人、英語学部では第二、通訳学部では第三外国語として、大学院生は４人が学習しております。
それ以外に、日本語に深い興味を持ち、個人で言語を学んでいる学習者も多数おります。

今日に至るまで、皆様に日本とその国民、言語や教育に関する多数の教材を寄付して頂き、感謝しております。また、これらの教材においては、サマルカンドの日本語学習者達が日本語や日本の文化などをより深く理解できるような機会を与えて下さっていることを、大変ありかたく存じます。教員や学生たちもこの機会を大変光栄に思っております、

サマルカンド国立外国語大学に対し、多大なご協力をいただいておりますことに大学を代表し、御礼を申し上げます。大学としましても、学生たちにとってこの機会が日本語を勉強する上での責重な資源となり、彼らが将来ウズベキスタンと日本のかけ楯になることを期待しております。

このご支援を契機に、サマルカンド国立外国語大学どアルホラズムの会”の関係がより深まりますこと、そして両組織の活発な活動が永遠に続いていくよう、お祈り申し上げます。“アルホラズムの会“側の皆様にもくれぐれもよろしくお伝えいただければ幸いに存じます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

2018 年６月 **28** 日

サマルカンド国立外国語大学学長
Toxtasinov llxomjon Madaminovich
トフタシノフ・イルホム・マダミノウィチ

サマルカンド国立外国語大学日本語講座講師
Achilova Ozoda Farxodovna
アチロヴァ・オゾダ・ファルハドウナ

&4卸喩,徊丿喩4故ｊ４ｉＪ柿t幻